

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	特別支援学校管理運営事業（学校管理課）			事業番号	038-028
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		有	取組の方向性	③学校施設の充実				
	寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—		
		無	取組	—				
	寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	堺市教育大綱、第2期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 - 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	学校教育法						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立支援学校児童生徒				対象数	単位校
						2	校
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	学校園教育の充実のためには、環境を整備していくことが重要であり、各支援学校における児童及び生徒の学習環境を整備する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	支援学校の学級数並びに児童及び生徒数に応じた必要な予算を確保し、各支援学校に予算配当を行う。各支援学校は、配当された予算内で教材教具等の購入や更新を行う。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	教育活動や内部管理・維持管理に必要な物品購入等を適切に行う。					
	当該目標を設定した理由	各学校配当予算の適切な執行。					
	目標に対する実績	新規の物品購入のほか、現有物品についても必要に応じた更新等を行った。					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
12	学校園事務監査指導の実施	校	令和2年度	令和3年度	令和4年度		達成率
			目標値	2	—		
			実績値	2	—		
当該指標を選定した理由	学校園における適切な事務執行の確保						
目標値の設定根拠・算出方法	同一学校園における実施頻度、学校園の工事、他の監査の実施等を勘案し、市立全学校園から20校を選						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	特別支援学校管理運営事業（学校管理課）	事業番号	038-028
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	32,261	33,536	45,443	35,586	37,025
13 財源内訳	国支出金	6,872	6,200	5,231	3,400
	府支出金				
	市債				
	その他（ <small>県市子ども教育のめざす基金、教育事務一部負担金</small> ）				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	32,261	26,664	39,243	30,355	33,625
14 人件費 (b)	4,560	4,850	108,240	2,640	2,640
15 年間経費(c)=(a)+(b)	36,821	38,386	153,683	38,226	39,665

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R3	決算	25,583	22,989			R3	決算	0	0	
16 事業費内訳	需用費消耗品費等	R4	予算	24,994	23,429	委託料	R4	予算	20	0	
		R3	決算	0	0		使用料及び賃借料	R3	決算	892	50
	R4	予算	24	24	R4	予算		806	80		
	需用費燃料費	R3	決算	409	409	原材料	R3	決算	168	168	
		R4	予算	472	472		R4	予算	233	233	
	需用費印刷製本費	R3	決算	1,502	1,502	備品購入費	R3	決算	5,541	4,236	
		R4	予算	1,560	1,560		R4	予算	7,815	7,159	
	需用費備品修繕料	R3	決算	1,491	1,001	負担金、補助及び交付金等	R3	決算	0	0	
R4		予算	1,101	668	R4		予算	0	0		
役務費通信運搬費等	R3	決算	1,491	1,001	負担金、補助及び交付金等	R3	決算	0	0		
	R4	予算	1,101	668		R4	予算	0	0		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
	① 学校園事務監査指導の実施	校	-
② 上記①にかかる年間経費	千円	-	38,226
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	19,113,000	
備考（算出についての説明等）	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事務監査指導は実施していない。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援学校に予算を配当する方法により、支援学校で必要とされる事務用品、教材、図書、備品等の物品購入、修繕等を行った。障害のある子供たちの生活や学習上の困難を改善、克服する教育を推進するために必要な学習環境の充実を図った。 ■ 学校園教育の充実に向け、必要最低限の経費で適切な環境整備を行うことができた。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事務処理提要の改定 学校事務の効率化や円滑化を図るため、4月に事務処理提要を改定した。 ■ 予算令達 学校での計画的な予算執行を推進するため、適宜、予算令達（学校教育活動継続支援、幼児・児童・生徒日本語指導事業等を含む）を行った。 ■ 必要とされる支援の充実 障害のある子どもたちの自立と社会参加に向けた主体的な取組や、個々の教育的ニーズに即した取組への必要支援の充実に寄与した。
----	--